

臨床研究実施についてのお知らせ

2021年9月21日

【研究課題名】 CTangiography における造影効果改善を目的とした一連の取り組みの検討

【研究期間】 調査対象期間は2017年10月1日～2018年10月31日と2020年1月1日～2020年12月31日まで。各期間において造影CTを受けられた方。

研究実施期間：研究機関長の許可日～2022年12月31日

【研究対象】 頸部胸部腹部大血管描出を目的とし従来法あるいはスパイラルフローチューブを用いて新法による造影撮影を行った患者様

【研究目的・意義】

頸部胸腹大血管描出CT（CTアンギオグラフィー）は外傷における血管漏出を検出し3D処理を行うことでIVR治療に貢献、また多血性の腫瘍を描出し治療を行うために一般的に行われるCT造影撮影です。しかし、その造影効果は一定ではなく、描出が不良である場合を経験します。そこで、どのような患者さまでも一様に検出できるようにするため新しい方法を考案し導入しました。新しい方法とは造影効果を高めるとされるスパイラルフローチューブ、ボラストラッキング法、心係数に基づく体重当たり注入時間あたりヨード量の投与を組み合わせたものです。本研究の目的は従来法と比較しながらその効果を明らかにし、より最適な造影検査を行うことにあります。

【研究方法】すでに撮影を終了した方のカルテ情報（診療録）、画像情報を用いてデータを抽出、収集を行います。

【研究に用いられる試料・情報の種類】本研究では、以下の情報を診療録（主に電子カルテ情報）から抽出します。年齢、性別、体重、造影剤ヨード量、注入条件、大動脈CT値

【試料・情報の二次利用】

本研究で取得した試料・情報の利用は、別の新たな研究に利用する可能性があります。

【個人情報の取扱い】本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名、住所、生年月日などは一切公表しないこととします。電子的データ収集（electronic data capture, EDC）という方法でデータを電子記録し匿名化したうえで保管します。

【本研究の資金源（利益相反）】

ありません

【研究代表者】 沖縄県立中部病院 放射線技術科 久場 匡
沖縄県うるま市宮里 281 番地
TEL : 098-973-411 / FAX : 098-974-5165